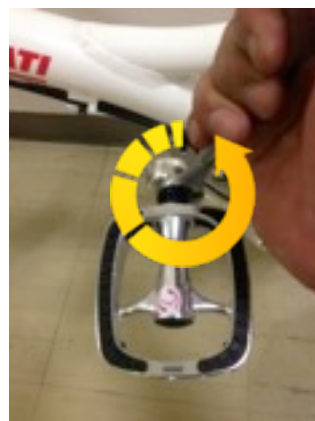
e-ZIGO 組み立てマニュアル

トヨハラ自転車商会

1.付属品

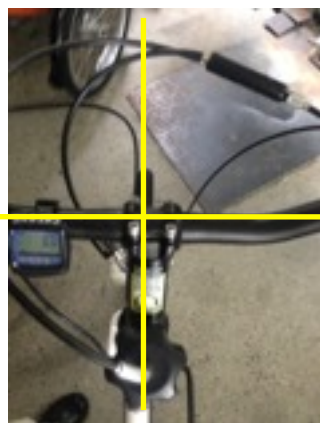
・14&15mmスパナ
・六角レンチ（大・小）

2.ペダルの取り付け

右ペダル(R)は正ネジ
（時計回転方向で締まります）
左ペダル(L)は逆ネジ
（反時計回転方向で締まります）
※左ペダル要注意！

3.ハンドルの取り付け

1)段ボールに入れるため、ハンドルはステムから取り外してあります。
2)六角レンチ（小）でステムの４カ所のネジを外し、ハンドルを挟み、再びネジを軽く止めます。
3)ハンドルの中心（ギザギザが入っているところ）までスライドさせ、六角レンチ（小）で４カ所を軽く固定します。（ハンドルを捻ると回る程度）
4)ハンドルを捻ってグリップが握りやすいところに合わせしっかりと六角レンチで固定します。

ギザギザの真ん中がハンドルの中心です。

4)ハンドルの向きを約９０°戻して前輪と垂直になるようにし、六角レンチ（大）でしっかりと左右計２カ所を固定します。

左右１カ所ずつあります

5)前輪を装着し、フロントブレーキをセットし、バイシクルモードで走ってみてハンドルが曲がっていないかを確認します。
※前輪は「クイックレリース」になっています。レバーのついている方が自転車に乗った時の左側になります。「クイックレリース」はレバーを緩め、時計反対方向に回すと緩みます。（反対側の樹脂製のナットは手で押さえておきます。）フロントフォークをはめたら、時計方向に回転させ、最後にレバーを倒してしっかりと固定します。前輪の固定後カンチブレーキをセットして完了です。

※はまりづらいときはレバーを時計反対方向にさらに回して十分に緩めて下さい。

写真のようにブレーキを手で挟んでこちら側のタイコをつけます。

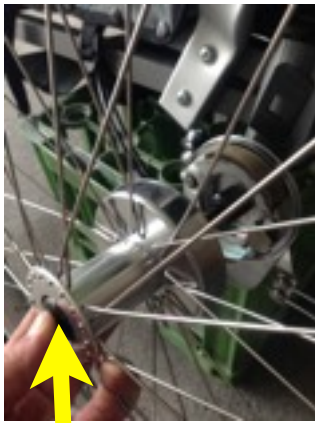
※写真はわかりやすいように前輪をはずしてあります。

6)左右どちらかに曲がっているようでしたら、上記4)の手順で進行方向に対してハンドルが垂直になるよう微調整します。
（当社では六角レンチを持ったまま試運転に出かけ、その場で数回微調整しています。）

4.チャイルドポッドの組み立て

1)左右のレバーを同時につまんで折り畳んである本体を起こします。
2)左右側面のボタンを同時に押しながらハンドルバーを使いやすい位置まで起こします。
（後で調整できます

1)のレバー・拡大

3)後輪のハブ軸についているボタン（黒）を押しながら車輪を本体（ブレーキシューのところ）に左右装着します。
※少しきつい時もあります。車輪はしっかりと奥まで入れて下さい。

ハブ軸ボタン

奥までしっかりと入れて下さい

２本のブレーキアウターワイヤーのエンド部分が、左写真のようにエンド受けから外れていると車輪は装着できません。右写真のように奥まで差し込んで下さい。

4)マジックテープをとり、サイドの丸いボタンを押しながらレバーを前方にスライドさせ、前輪（**小さい樹脂製の補助輪・キャリアバイシクルモードでは必ず折り畳んで下さい**）を左右起こします。
5) クリップを押しながら、泥よけを左右取り付けます。
6) 別梱包のヘッドランプをスライドさせ取り付けます。

※手を挟まないように気をつけて下さい。

クリップ

※チャイルドポッド右後方下部のノブ（黒）はキャリアバイシクルモードでは引っ張りだして後輪が左右に舵が切れるようになり、ベビーカーモードでは押し込んで後輪が左右に動かないように固定する為のものです。
キャリアバイシクルモードの時は必ず引っ張りだして下さい。
※納車時は引っ張りだしてあります。９０°回すとバネの力で押し込まれます。再度引っ張って９０°回すと引っ張りだされた状態で固定されます。

5.「キャリアバイシクルモード」（ベビーカー＋自転車）の連結方法

1)前輪をはずした状態でチャイルドポッド後部の連結用丸パイプにヘッドチューブを入れます。
※この時チャイルドポッドの連結用角パイプ（グレー）と自転車フレームの連結装置を合わせておきます。
2) フロントフォークのエンド（前輪の車軸が入る部分）をチャイルドポッドの舵取り連結部にはめ込みます。（3～5mm浮いていても構いません。4)の行程で隙間が縮まります）

3)連結用角パイプ（グレー）を自転車フレームの連結装置のノブを回してしっかりと固定します。
4)ブレーキ連結用ノブを回してしっかりと固定します。

6.パーキングブレーキ

レバーを強く握りながらボタンを押し、レバーから手を離すとチャイルドポッドのブレーキがかかった状態になります。もう一度強く握るとブレーキは解除されます。
走行時はブレーキが解除されている事をご確認ください。ブレーキがかかったままで走ると故障の原因となります。

7.車体番号・防犯登録ステッカー

ZIGO LEADERは輸入車のため、フレーム下部に車体番号の刻印があります。
（もしも警察に止めたれたら車体番号の場所を説明してください。）
また、リース車両の場合は所有者が「トヨハラ自転車商会」となっています。

刻印箇所：
ボトムブラケットの下側

車体番号刻印

防犯登録ステッカー

8.右ブレーキワイヤーの切り替え方法（シングル引きレバーの場合）

[バイシクルモード→キャリアバイシクルモードへの切り替え]

・3-5)ではめたタイコを外し、ブレーキをフリーにします。右ブレーキレバーのワイヤー付け根にあるアジャスターネジを回して溝を一直線に合わせるとその隙間からワイヤーを抜くことができます。（写真１）次にブレーキレバーを握ってタイコを外すとワイヤーが完全に取れた状態になります。（写真２）

・チャイルドポット用のブレーキワイヤーを上記と逆の手順で装着すれば交換完了です。

※ブレーキ連結用ノブを緩めた状態で行い、最後にしっかりと締めてブレーキが効いているか確認してください。

[キャリアバイシクルモード→バイシクルモードへの切り替え]

・ブレーキ連結用ノブを緩めます。チャイルドポッド用のブレーキワイヤーは遊びが少ないので、アジャスターネジを回してブレーキレバーから外します。（写真３）

・ 外したアジャスターネジを元に戻し、溝を一直線にします。3-5) の前輪ブレーキのタイコを外した状態で自転車用ブレーキワイヤーのタイコをブレーキレバーに装着し、3-5) と同じように前輪ブレーキのタイコを付けて完了です。

1

2

3

e-ZIGO 取扱説明書

ZIGO LEADER公式ページ　http://myzigo.jp/products_carrier.html

1.手元スイッチ

操作パネルの使用方法

（ステップ1）アシストモードで走行する

『電源 入/切』スイッチを押して電源をONにすると『アシストモード』になります。
また、『モードLED』の表示は『アシストモード』時はLEDライトが点灯しません。

『アシストモード』は、アシスト機能が働き楽々走行できます。
下り坂の時(266AL・266STは平地での惰性走行充電あり)は自動的に回生充電機能が働くので、充電器による充電回数が少なくて済みます。
（回生充電機能が働くと、発電のためエンジンブレーキが掛かったようにスピードを制御します。）

バッテリー残量表示

『アシストモード』『パワーモード』のアシスト動作時は、バッテリー残量表示となります。
下図の表示方法となります。（通常はこの表示となります。）

※バッテリー残量が空の状態に近づくと『点滅』します。『充電モード』または、充電器による充電を行ってください。
※バッテリー残量が完全に無くなると電源はつきません。この場合は、充電器による充電を行ってください。
※バッテリー残量が空の状態に近づきモーターより『カタカタ』と音がし始めましたら『充電モード』または、充電器による充電を行ってください。
※バッテリー残量表示は、バッテリーの状態、走り方、道路状況などにより消灯間隔が異なりますので、あくまで目安としてご利用下さい。

『下り坂充電』状態時の表示　<TB-266AL・TB-266STは惰性走行充電時も表示>

『アシストモード』『パワーモード』で下り坂(ペダルを漕いでいない状態で加速した場合)になると、下図の表示方法となります。

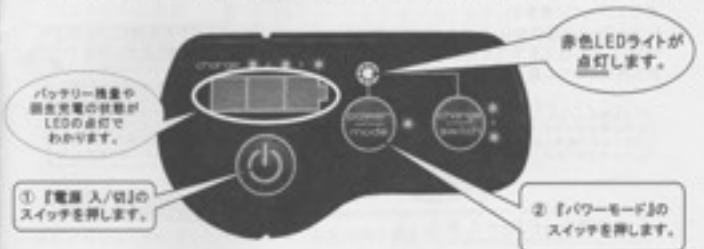
※回生充電量が多ければ、LEDの点灯ローテーション周期が早くなります。

⚠注意
●傾斜の程度や路面の凹凸状態によっては、回生充電機能に切り替わらない場合があります。
ブレーキレバーはいつでも握れる準備をしておいてください。

11

（ステップ2）パワーモードで楽々走行する

『パワーモード』は、『アシストモード』よりもアシスト力を強めて使用したい時に効果的です。
（例：急な登り坂）

※『パワーモード』を使用すると、消費電力が大きくなり、一充電の走行距離は少なくなります。

（ステップ3）充電モードで走行する(1)　※アシスト機能なし

ステップ1の『アシストモード』は、ペダルを踏んだ時はアシスト機能が働き、ペダルを漕がない下り坂走行時は自動的に回生充電が働くのに対して、このモードはペダルを踏むことにより充電(設定レベル1～3の3段階)を行います。
したがってペダルの踏力は、設定レベルが上がる毎に重くなります。

『電源 入/切』スイッチを押して電源をONにします。次に『chargeモード』スイッチを長押し(2秒以上)して『充電モード』にします。(『モードLED』の表示が点滅します。)
この時、充電レベルは『レベル1』に設定されます

⚠注意
走行中に操作パネルを操作するのは大変危険ですのでおやめください。
『モード切替』スイッチは安全な場所に止まってから操作してください。

12

（ステップ3）充電モードで走行する(2)

『充電モード』レベル設定の方法

『chargeモード』スイッチで『充電モード』に選択すると、充電量を自分の体力に合わせてレベル設定することが出来ます。
レベル設定を上げる時は、『chargeモード』スイッチを押していきます。押す毎にレベルは一つずつ上がっていきます。
レベル2～3の設定から、レベル1に戻す時は『chargeモード』スイッチを長押し(2秒以上)します。レベル設定を下げる場合は一度、『chargeモード』スイッチを長押ししてレベル1にしてから再度、レベル設定(レベル2～3)をおこなってください。

『充電モード』レベル表示

『充電モード』のレベル表示は、3秒間のみ点灯します。その後は、バッテリー残量表示(11ページの『バッテリー表示参照』)に戻ります。

『アシストモード』への切替方法

『充電モード』から『アシストモード』にする時は、『充電モード』レベル1から『chargeモード』スイッチを更に長押しします。(『充電モード』レベル2～3の設定から『アシストモード』に変更する時は、『chargeモード』スイッチを2回長押しします。)
又は、電源をOFFにして、再度ONに入れると『アシストモード』となります。

13

2.バッテリーの取り外し・充電方法

鍵位置を「あける」にして手前へ引っ張って取り外します。
充電器にのせて充電します。充電完了後、自動的に終了します。
充電時間は約３時間です。
できるだけ電池残量が少なくなってから充電した方がバッテリーの寿命は延びます。

3.ヘッドランプ

キャリアバイシクルモード時とバイシクルモード時で取り付け位置を変更できるよう、台座を２つ設置しています。

4.ソーラーフラッシュテールランプ

明るさ・振動を感知し、夜間の走行時のみ点滅します。停止後約３０秒間は点滅していますが、自動的に消灯します。太陽光で充電されます。

5.サイクルコンピューター

※別紙をご覧下さい。